



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 セグエグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3968 URL <https://segue-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 愛須 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 福田 泰福

TEL 03-6228-3822

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,025	△0.6	317	2.8	334	9.6	235	17.8
2019年12月期第2四半期	5,056	12.5	309	7.2	305	3.7	200	△18.8

(注)包括利益 2020年12月期第2四半期 211百万円 (△7.7%) 2019年12月期第2四半期 229百万円 (40.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	20.66	20.20
2019年12月期第2四半期	17.47	17.09

(注)当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	6,703	2,796	41.2
2019年12月期	6,146	2,786	45.0

(参考)自己資本 2020年12月期第2四半期 2,765百万円 2019年12月期 2,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,012	14.2	581	6.0	594	7.2	436	6.1	38.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	11,493,035 株	2019年12月期	11,487,200 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	127,536 株	2019年12月期	236 株
-------------	-----------	-----------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期2Q	11,414,376 株	2019年12月期2Q	11,461,243 株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注) 1. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

2. 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託財産として株式給付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2020年8月20日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の通商問題、英国のEU離脱等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、2020年4月から5月までの緊急事態宣言による影響も受け、先行き不透明な状況が強まっております。

当社グループの属するIT業界におきましては、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に対応するデジタルシフトが加速するとともに、デジタルトランスフォーメーション等への注目度は高まっております。あらゆる業種・職種でテレワークの普及が加速し、そのセキュリティの重要性も高まっております。また、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想により、全国の学校のネットワーク整備等が進められており、当社グループ取扱いのWi-Fi関連商材も採用されております。しかしながら、経済の減速に伴い、既存システムの維持や重要なセキュリティ対策等に対する投資は継続されるものの、抑制や導入時期の延期等の見直しが懸念されます。

このような環境の中、当社グループは、組織改編を行い中核子会社ジェイズ・コミュニケーション株式会社をビジネスユニット制にし、内部連携の強化と経営の迅速化を図る等、2020年2月に発表した中期数値目標を達成すべく事業基盤の強化に向けた施策の展開を進めております。その結果、保守及びヘルプデスク等のサポートサービスを含むサービスの販売は堅調に推移しております。プロダクトの販売は、ITインフラを主体とした大型システム案件が減少したものの、テレワーク需要に対応した商材の販売が進捗したことにより、前年同四半期と比べ微減となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は2,809,471千円と前年同四半期と比べ146,471千円(5.0%)の減収、ソリューションサービス事業の売上高は2,216,356千円と前年同四半期と比べ116,024千円(5.5%)の増収、連結売上高は5,025,827千円と前年同四半期と比べ30,447千円(0.6%)の減収となりました。

利益につきましては、売上総利益率の改善により売上総利益が前年同四半期を上回り、第2四半期連結累計期間における過去最高額を達成したことにより、中長期の成長に向けた人財や社内環境・システム等への積極的な投資による人件費、一般管理費の増加を吸収し、営業利益は317,762千円と前年同四半期と比べ8,594千円(2.8%)の増益、経常利益は334,449千円となり前年同四半期と比べ29,161千円(9.6%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上し、235,855千円と前年同四半期と比べ35,564千円(17.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,703,121千円となり、前連結会計年度末に比べて556,813千円の増加となりました。流動資産は5,276,168千円となり、前連結会計年度末に比べて231,898千円の増加となりました。固定資産は1,426,952千円となり、前連結会計年度末に比べて324,914千円の増加となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券の増加等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は3,906,727千円となり、前連結会計年度末に比べて546,938千円の増加となりました。流動負債は3,635,657千円となり、前連結会計年度末に比べて528,737千円の増加となりました。固定負債は271,070千円となり、前連結会計年度末に比べて18,200千円の増加となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金、及び前受金が増加したこと等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,796,393千円となり、前連結会計年度末に比べて9,874千円の増加となりました。主な要因は、自己株式増加に伴い株主資本が減少した一方、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響を合理的に見積もることは困難であり、通期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日公表の業績予想を据え置いております。

今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,180,682	2,400,424
受取手形及び売掛金	1,205,503	1,225,617
電子記録債権	30,019	37,182
たな卸資産	640,109	659,615
前渡金	583,552	592,338
未収入金	303,458	278,297
その他	101,808	83,495
貸倒引当金	△863	△801
流動資産合計	5,044,270	5,276,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,057	66,939
減価償却累計額	△31,519	△33,132
建物及び構築物(純額)	27,537	33,807
車両運搬具	3,076	3,076
減価償却累計額	△2,390	△2,537
車両運搬具(純額)	685	538
工具、器具及び備品	873,837	910,295
減価償却累計額	△719,871	△752,976
工具、器具及び備品(純額)	153,965	157,318
土地	639	639
建設仮勘定	7,500	—
有形固定資産合計	190,328	192,304
無形固定資産		
のれん	116,783	104,048
ソフトウェア	171,848	164,695
ソフトウェア仮勘定	12,056	—
その他	1,209	1,209
無形固定資産合計	301,897	269,953
投資その他の資産		
投資有価証券	335,759	608,794
長期差入保証金	94,472	133,137
繰延税金資産	83,964	120,221
保険積立金	78,157	77,357
破産更生債権等	2,241	2,352
その他	17,290	25,007
貸倒引当金	△2,075	△2,176
投資その他の資産合計	609,810	964,694
固定資産合計	1,102,037	1,426,952
資産合計	6,146,308	6,703,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	508,448	820,137
1年内返済予定の長期借入金	8,028	8,028
未払金	104,963	70,857
未払費用	161,415	247,693
未払法人税等	113,435	169,741
未払消費税等	79,055	96,048
賞与引当金	1,850	5,552
前受金	2,079,163	2,190,598
その他	50,559	27,001
流動負債合計	3,106,919	3,635,657
固定負債		
長期借入金	9,858	5,844
退職給付に係る負債	176,413	198,627
長期末払金	66,598	66,598
固定負債合計	252,869	271,070
負債合計	3,359,789	3,906,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,243	507,598
資本剰余金	279,743	280,098
利益剰余金	1,874,669	1,995,655
自己株式	△213	△100,172
株主資本合計	2,661,442	2,683,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,685	82,940
繰延ヘッジ損益	△71	△295
その他の包括利益累計額合計	106,613	82,645
新株予約権	18,463	30,567
純資産合計	2,786,518	2,796,393
負債純資産合計	6,146,308	6,703,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,056,274	5,025,827
売上原価	3,762,973	3,629,378
売上総利益	1,293,301	1,396,449
販売費及び一般管理費	984,133	1,078,686
営業利益	309,168	317,762
営業外収益		
受取利息及び配当金	51	27
為替差益	—	2,446
保険解約返戻金	5,725	3,372
補助金収入	2,286	8,244
その他	856	2,995
営業外収益合計	8,918	17,086
営業外費用		
支払利息	83	69
支払保証料	120	120
為替差損	12,342	—
株式交付費	150	210
その他	102	0
営業外費用合計	12,799	400
経常利益	305,288	334,449
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,699
新株予約権戻入益	209	—
特別利益合計	209	22,699
特別損失		
式典解約関連費用	—	1,964
特別損失合計	—	1,964
税金等調整前四半期純利益	305,497	355,184
法人税、住民税及び事業税	127,542	153,562
法人税等調整額	△22,336	△34,233
法人税等合計	105,206	119,328
四半期純利益	200,291	235,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,291	235,855

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	200,291	235,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,901	△23,744
繰延ヘッジ損益	272	△223
その他の包括利益合計	29,174	△23,968
四半期包括利益	229,466	211,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,466	211,887
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。